

大雨&台風シーズン到来

「忘」災にしない！ 避難行動の確認を！



☎ 危機管理課（防災センター2階）
☎ 0538-37-2114 FAX 0538-32-0177

令和4年台風第15号、令和5年台風第2号に伴う大雨により、2年連続で本市を襲った災害は、近年経験したことの無い甚大な被害をもたらし、私たちの記憶に強く残っています。

これから梅雨や台風による集中豪雨の恐れが高まる時期を迎えます。いつ災害が起こっても迷わず行動できるよう避難行動を確認しましょう。

避難するときのポイント

- 動きやすい服装で
荷物は必要最低限とし、両手が使えるようにリュックを背負いましょう。
- 安全な親戚の家なども避難先に
市が開設する避難場所の他、親戚の家などの安全な場所も避難先です。
- 長靴は履かない
浸水した場所を歩く場合は、長靴の中に水が入り、歩きづらくなります。
- 食料など必要なものは持参を
避難場所に食料などはありません。必要なものは各自で持参し避難してください。



避難とは『難』を『避』けること
安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません

避難情報について

水害や土砂災害の危険性が高まった場合、市は同報無線、いわたホットメール、磐田市LINE公式アカウント、ホームページなどを通じて避難情報を発令します。避難情報のレベルに合わせた行動をしましょう。「警戒レベル4避難指示」が発令されたら、高齢者等に限らず全員が危険な場所から避難しましょう。



◀いわたホットメール

磐田市LINE
公式アカウント▶

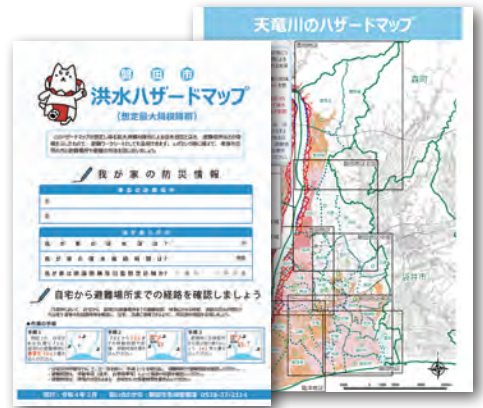


警戒レベル	避難情報等	取るべき行動
高 5	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保
警戒レベル4までに必ず避難		
4	避難指示	危険な場所から 全員避難
3	高齢者等避難	危険な場所から 高齢者等は避難
2	大雨・洪水・高潮注意報	自らの避難行動を確認
低 1	早期注意情報	災害への心構えを高める

あなたが取るべき避難行動は？

いざという時に慌てないために、ハザードマップで災害リスクを確認し、避難行動を決めておきましょう。ハザードマップは、国土交通省の「ハザードマップポータルサイト」で閲覧できます。また、危機管理課や各支所市民生活課では、紙のハザードマップを配布しています。

国土交通省「ハザードマップポータルサイト」
<https://disaportal.gsi.go.jp>



▲磐田市洪水ハザードマップ

ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則※として、自宅以外に避難が必要です。

例外

※浸水の危険があっても、次の全てに当てはまる場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。

- ・洪水により家屋が倒壊または崩落してしまうおそれの高い区域の外側である
- ・浸水する深さよりも高いところにいる
- ・浸水しても水が引くまで我慢できる、水や食料などの備えが十分にある

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

避難のタイミング

警戒レベル3
高齢者等避難が発令されたら
【避難先】
 親戚、知人の家

避難のタイミング

警戒レベル3
高齢者等避難が発令されたら
【避難先】
 市の避難場所

避難のタイミング

警戒レベル4
避難指示が発令されたら
【避難先】
 親戚、知人の家

避難のタイミング

警戒レベル4
避難指示が発令されたら
【避難先】
 市の避難場所

市では災害種別ごとに開設する避難場所を決めています。
 市ホームページで最寄りの避難場所をご確認ください。

避難場所について
 (市ホームページ) ▶

